

平成 21 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社グローバルダイニング
代表者名 代表執行役社長 長谷川 耕造
(コード番号 7625 東証第二部)
問合せ先 執行役財務経理グループリーダー
添田 裕一郎 (TEL. 03-5469-3223)

為替差益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 2 月 10 日の決算発表時に公表いたしました平成 21 年 12 月期(平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日) 第 2 四半期累計期間及び通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正 (平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日)

連結

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益又は 当期純損失
前 回 発 表 予 想 (A)	7,463	143	69	12	4 円 30 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	7,558	115	252	168	18 円 25 銭
増 減 額 (B-A)	95	△28	183	156	—
増 減 率 (%)	1.3	△19.6	265.2	—	—
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 6 月期)	8,035	176	3	△126	△17 円 76 銭

(金額の単位：百万円)

2. 平成 21 年 12 月期通期業績予想の修正（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）

連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益又は当期純損失
前回発表予想 (A)	15,633	357	257	125	15円60銭
今回修正予想 (B)	15,712	343	455	287	29円90銭
増減額 (B-A)	79	△14	229	162	—
増減率 (%)	0.5	△3.9	89.1	129.6	—
(ご参考) 前期実績(平成20年12月期)	16,461	274	△105	△897	△126円27銭

(金額の単位：百万円)

3. 修正の理由

連結業績予想につきましては、売上高、営業利益におきまして当初の想定内で推移しております。当第1四半期連結会計間中に、当社の連結子会社であるグローバルダイニング、インク・オブ カリフォルニアの有する有利子負債の削減、為替レートの変動に伴う有利子負債に係る為替差損益の発生リスクの回避、そして資本の増強による財務体質の改善を目的として、同子会社に対するデット・エクイティ・スワップを実施致しました。その結果、為替差益として1億68百万円を計上致しました。

同じく当第1四半期連結会計間中に、「権八 ビバリーヒルズ」の建設の一部を担当した企業とグローバルダイニング、インク・オブ カリフォルニアとの間で生じておりました工事内容に関して無事和解することができ、その結果、訴訟和解金として33百万円を計上致しました。

これにより経常利益及び当期純利益の業績予想を修正致します。また、通期の業績予想につきましても、第2四半期累計期間の修正を考慮し、業績予想を修正致します。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって、予想と異なる結果となる可能性があります。

以上